



2019 新年度開講に際して

『個』への対応

公教育は、集団を一定の学力水準に引き上げるという使命を負うため、「集団」に焦点を合わせた教育を追求します。

しかし、たとえばお父様・お母様は、決してわが子を「集団」の中の一人として見たりはしません。

その視線は、必ずわが子のかけがえのない「個」に焦点を合わせ、その可能性を引き出すことに集中しているはずです。

eisuの指導理念である「『個』への対応」とは、そうしたお父様・お母様と同じ視線、

つまり子供たちの「個」に焦点を合わせた視線で教育を実践する姿勢のことです。

受験を通して人生を学ぶ

受験は、頭脳と心とともに鍛錬できる、子供の成長を促す最高の機会です。

だから、志望校合格に向けて一所懸命努力することは、いつの時代でも価値があります。

そして、人としての実力を育める多彩な機会を創造し、

共に切磋琢磨できる優れた環境の中で子供たちを育てることこそ教育の原点であり、

「個」の可能性を開花させる最善の方法だと、eisUは考えます。

新しい時代への変革

—「英語4技能」「思考力/判断力/表現力」、他—

時代は激しく変わり、子供たちに求められる学力も激しく変わっています。

eisuは時代に求められる教育を目指して、常に教育サービスのあり方を変革していきます。

2019年は、英語4技能育成コンテンツ「セイン英語ジム」の刷新、中学本科の刷新、東進中学NETの刷新をはじめ、

小1から高3まで細部にわたりコースを充実しました。

これからもeisUは、「個」の成長可能性に天井を設けない、先進的な教育を追求します。



eisu coo
(最高執行責任者)
伊藤 奈緒

成長を続ける子供たちにふさわしいよう、私たち社員も研鑽を続けています。
「日本教育士検定／全国名教師授業大会」

2018年5月27日(日)、日本各地を代表する塾からプロフェッショナル部門として約400名が参加しました。当日は選抜された精鋭教師約70名がエキスパート部門として東京の神田女学園に集い、「2018年 日本教育士検定／全国名教師授業大会」が開催されました。eisUからも多くの教師が参加し、全員が資格を取得しました。次回2019年大会は5月26日(日)に東京で開催されます。eisUは全国最高水準の教育を求めてこれからも研鑽を続けてまいります。



模範授業を披露した全国で6人の講師のうちの一人、eisU 国武明宏



2018年大会運営委員長として挨拶する山本代表

eisu 教育目標

「『個』への対応」を指導理念に、「小・中・高一貫指導体制」で社会に貢献できる「自立した人財」を育成する。

eisu 55年構想

1. 学習環境 (日本一) 2. 能動学習 (日本一) 3. 実践英語 (日本一)
創立55周年を迎える2020年までのeisUのミッションです。